

三代實錄、元慶八年七月十五日癸酉、授武藏國從五位上小野神正五位上、  
布多天神社

布多天は假字也○祭神少彦名命、地名 ○府中領上布田村に在す、上例祭 月 日、

邑人大入木範並云、近年天滿宮の扁額を擧たりと云り、全く誤れるなるべし、

大麻止乃豆乃天神社

大は於保と訓べし、麻止乃豆乃は假字也、○祭神日本武尊、大己貴命、少彦名命、地名 ○御嶽山

に在す、上例祭 月 日、○物國風土記七十七殘缺云、大麻止乃智天神、圭田六十七束六毛

田、所祭大己貴命、安閑天皇乙卯年始奠官社、花時以花祭之、新稻之時以新稻祭之、

逕風按るに、大和國十市郡天香山坐櫛真命神社、元名大麻止乃知神とある同名なれば、櫛

真命を祀れるにはあらざるか、猶考ふべし、

社領

阿豆佐味天神社

阿豆佐味は假字也○祭神少彦名命、地名 ○村山郷殿ヶ谷村に在す、上例祭 月 日、

社領

當代御朱印高十二石

穴澤天神社

穴澤は阿奈佐波と訓べし、○祭神少彦名命、風土 ○矢野口村に在す、地名 例祭 月 日、○惣  
國風土記七十七殘缺云、武藏國多磨郡穴澤天神、圭田三十六束三毛田、孝安天皇四年壬辰三  
月、所祭少彦名神也、

土人云、昔村に此社あり、故ありて隣村——村の氏神とす、今橋樹郡に屬す、

虎柏神社

虎柏は登良加志波と訓べし○祭神大歲御祖神、風土 ○小曾木郷根箇布村に在す、地名 今諏訪  
明神と稱す、郷中惣社也、例祭 月 日、○惣國風土記七十七殘缺云、武藏國多磨郡虎柏神

社、圭田七十三束、所祭大歲御祖神也、崇峻天皇二年乙酉八月、始祭事有之、

古松軒の筆記には、佐須村に至ての小社あり、虎柏神社と稱す、また同村に、虎柏山祇園寺  
といふもあるよし見えたり、

社領

當代御朱印高三石

青渭神社

青渭は阿衰奴と訓べし○祭神大己貴命、地名 榑保内澤井村に在す、上例祭 月 日、

武藏野地名考に、當郡柏の里深大寺境内に青渭の堤と云所あり、青渭天神の社あり、七八  
十年前まで數十箇の古木ありしと也、此古の青渭神社なるべしと云り、

足立郡四座

大一座小三座